

令和4年度第2回 北杜市ほくと子ども育成戦略会議 議事録（要旨）

1. 会議名 令和4年度第2回 北杜市ほくと子ども育成戦略会議
2. 開催日時 令和4年6月28日（火） 午後2時00分～午後3時40分
3. 開催場所 北杜市役所 3階大会議室
4. 出席者
  - (1) 北杜市ほくと子ども育成戦略会議委員（11名）  
安達義通委員長、飯田久美子委員、小林佳恵委員、白倉繁委員、呑田真人委員、葦澤ふみ子委員、溝口奈緒美委員、矢崎香織委員、深澤文長委員、吉田百加利委員、小池雅美委員  
  
欠席者（8名）  
天野さやか委員、江間照夫委員、栗原正明委員、佐藤文昭委員、玉山桃子委員、名取政義委員、宮崎亮子委員、森本貴代美委員
  - (2) 北杜市（6名）  
企画課長、子育て政策課長、子育て政策課総務企画担当、企画課計画担当
5. 会議次第
  - (1) 開会のことば
  - (2) 委員長あいさつ
  - (3) 議事
    - ・子育て支援拠点整備について
  - (4) 閉会のことば
6. 公開・非公開の別 公開
7. 傍聴人の数 1人
8. 審議内容
  - (3) 議事 子育て支援拠点整備について
    - 【委員長】  
署名委員の指名
    - 【事務局】  
子育て支援拠点整備について、資料に基づき説明。

### 【委員】

- ・子育て支援拠点整備の予算はどれくらいか。
- ・市長の公約で10年後に子どもの数を2倍にするというものがあるが、公園を設置することで、その目標達成にどれだけ貢献すると見込んでいるか。
- ・施策目標を達成できなかった場合に、なぜ達成できなかったかを検証することは考えているか。
- ・市長は今年で就任2年目であるが、1年目の実績報告や2年目の施策目標はまだ作っていないのか。

### 【事務局】

- ・子育て支援拠点整備の予算は今後計上する。
- ・10年で子どもの数を2倍という大きな目標に向けて、子育て支援施策や移住・定住施策に力を入れて実施していくことを考えている。
- ・前年度の各施策の進捗管理や評価・検証については、今後、総合計画推進委員会を設置して行う。
- ・1年目の実績については今年度評価・検証を行う。2年目の施策目標については、総合計画の中で定めている。

### 【委員】

- ・子育て支援拠点施設の対象となる子どもの年齢に制限はあるか。
- ・施設整備について、9月に予算を立てて令和6年にできるという話を聞いたが、そのあたりの予定はどうなっているか。
- ・他市では、市民や有識者で構成された委員会で話し合いを重ねて作られた施設が20年続いているという例がある。北杜市では今後、市民の意見を入れながら作っていくという計画はあるか。

### 【事務局】

- ・施設の対象年齢について、現在は、屋内施設は小学校3年生くらいまで、屋外については制限なく子どもを中心に、と考えている。前回のワークショップでは全世代を対象にした方が良いという話もあったので、そういった意見も出していただけるとありがたい。
- ・施設整備について、秋には設計に着手したいと考えている。
- ・現時点では、委員会を立ち上げることは考えていないが、ほくと子ども育成戦略会議や子ども・子育て会議などで意見を聞いていきたい。また、市民の意見をどのように取り入れていくかも検討していきたい。

——— ワークショップ ———

### 【委員長】

前回抽出した課題に対する解決策を考えていただくというのが今回の趣旨です。

なお、委員から子育て支援拠点整備以外の議題で1つグループを作ってほしいという意見がありました。子育て支援拠点整備についてのグループを2つと、それ以外のグループを1つ作りたと思います。

### ○ワークショップの進め方

- ・資料1-2に挙がっている課題の中から、重要度が高いと感じる課題をピックアップして1人につき付箋2枚程度に書いて、グループ内で共有する
- ・ピックアップした課題を模造紙に書き込み、その隣に解決策を書き込む

### ○ワークショップの進め方について質問

#### 【委員】

- ・公園と子育て支援施設、どちらについて議論をすればよいか
- ・公共施設の床面積を削減するという話もあるが、公園は新設するのか。そもそも必要性について考えなければ話を進められないと思う。

#### 【事務局】

- ・屋内施設を視野に入れているが、それだけでなく、施設屋外に公園を整備して一体的に利用してもらいたいとも考えている。
- ・施設整備の必要性については、子ども・子育て支援事業計画策定にあたってのアンケートなどで数多くの意見があったことを受けて、担当課で検討を始めている。全て新設というのはかなり難しい話だと思う。既存の施設の有効活用も視野に入れて意見を出していただきたい。新設なのか、再整備なのかということよりも、どのような施設が良いかについてご意見をいただきたい。

### ○結果発表

#### 子育て支援拠点の整備について

#### 《課題》

- ・大自然を生かした遊具や公園がない
- ・自然を中心に置いた、北杜市ならではの公園や居場所づくりが必要
- ・子育て支援拠点として、相談や交流ができる場所が必要
- ・つどいの広場や子育て支援センターなど既存施設がたくさんあるが、平日の日中しか利用できず、利用者のニーズに合っていない
- ・雇用を生み、大人が本気で子どもたちに関われる仕組みづくりが必要
- ・今ある施設の利用について、年齢制限があり、兄弟一緒に利用できない
- ・新しい公園整備の必要性について疑問
- ・子どもや親が集える場所は既に多く存在するが、利用者が情報を取得しにくい
- ・既存の公園で全然整備されていない場所がある
- ・土日でも利用でき、未就学児から小学生まで集まって遊べるプレーパークが欲しい
- ・べるが等は夏には子供で賑わっているが、集客用の観光施設であり、地域の子どもが遊べる場所が必要
- ・子どもたちや親、幅広い世代が集まれるシンボリックな場所が必要
- ・どんな場所でも多くの利用者が歩いて行けるわけではない

## 《対応策》

- ・自然の中で、世代を超えてみんなが様々な遊びができ、土日も利用できる場所
- ・プレーパーク的なもので、自然の中で泥遊びや農作業体験などができる場所
- ・施設の窓から見える景色がひとつの絵になるような、自然風景を生かした場所に「ほくと子ども美術館」として整備
- ・ソフト面の充実が重要
- ・多くの人が集えば様々な悩みや相談事が出てくるので、駆け込み寺的な存在で、相談もでき、支援等に繋げてくれる場所を併設する
- ・子どもからそこに関わる大人まで世代を超えて集い、交流できる場とする
- ・市民や地域の有識者を委員に加えた施設整備検討委員会を立ち上げ、作って終わりではなく、その場所、施設がずっと育っていける場所づくりを行う
- ・小学校低学年までといった年齢制限のある場所ではなく、大きくなっても利用でき、学校を卒業してからもその場所に戻って仕事ができるような施設をつくる
- ・地域にある公民館や小規模な広場など利用できる場所はあるが、行政の管轄が異なることで情報が伝わっていないので、一つの部局が責任をもって利用者が必要とする情報をとりまとめ、工夫して情報発信を行う
- ・新しいものを作るだけでなく、今ある施設の現状を把握し、安全面を考慮してリニューアルしていく
- ・民間施設の誘致を行う等、民間と協働して子どもの遊び場を整備していく
- ・移動手段が確保できるよう公共交通等の検討を行う

## 子育て支援拠点以外のテーマについて

- ・総合計画の内容や施策の評価・検証について、市職員から話を聞いた。
- ・どう予算をつけて、どのような結果につなげたいのかという意志を聞かせてほしいということも伝えた。
- ・部署ごとの役割や、取組みの直接的・間接的な効果を検討されるとのことなので、その結果を見たい。何か協力できることがあれば力になりたいという話をした。

## 【事務局】

いただいた意見を基に担当課内で慎重に検討をしつつ、子ども・子育て会議や市民の声を聞けるような体制の構築を考えたい。情報の整理など、今からできることについてはさっそく始められればと思う。皆さんの力を借りながら、こういう施設があって良かった、北杜で良かったと思えるものにしていきたい。

## 【委員長】

今回の意見・提案は、改めて事務局で取りまとめ、子育て政策課に意見書として提出していただきたい。これにて議事は終了とする。

終了